

工 事 番 号							
設計年度	令和 6 年度		耐震性貯水槽新設工事（須波一丁目） 消防施設整備事業 三原市 須波一丁目 仕 様 書				
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工内容 耐震性貯水槽新設工 耐震性貯水槽設置 40m3 N=1基 標識設置 N=1基							

特記仕様書（個別事項）

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市須波一丁目 耐震性貯水槽新設工事（須波一丁目）に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
・ 耐震性貯水槽の設計手引き及び管理マニュアル（（一財）日本消防設備安全センター）
・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第3節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第4節 週休2日工事等

本工事は、週休2日工事の対象外とする。

第5節 建設副産物

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-19 建設副産物「4. 再生資源利用計画」、「5. 再生資源利用促進計画」及び「6. 実施書の提出」によらず、次のとおり取り扱う。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後 5 年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後 5 年間保存するものとする。

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限
- | | |
|------|------------|
| 施工内容 | 工事全般 |
| 時期 | 全工事期間 |
| 時間 | 8：30～17：00 |

第2節 材料

- 1 耐震性貯水槽
設置する貯水槽は、（一財）日本消防設備安全センターが認定する製品を使用すること。
本工事において、事前に使用する耐震性貯水槽の構造計算書を監督員に提出し承諾を得ること。
本工事完了後、設置した耐震性貯水槽に対する認定証（（一財）日本消防設備安全センター）の原本を速やかに監督員に提出すること。
- 2 水張り検査
水張り検査を行うこと。
なお、異常を確認した場合は、受注者は原因を確認し、調査計画書を監督員に提出し補修すること。

第3節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第4節 公害対策

- 1 粉じん対策
- | | |
|----|---------------------------------------|
| 内容 | 清掃作業において粉じんが飛散する場合は、粉じん防止の散水等を随時行うこと。 |
| 期間 | 土砂積込作業 |

第5節 安全対策

1 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

工事期間中、交通誘導警備員を1（人／日）見込んでいる。

第6節 工事用道路

1 一般道路

使用期間	工事施工期間
使用時間	8：30～17：00
工事中・後の処置	随時 清掃、工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督職員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第7節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所	株式会社アヴァンセ沼田東町納所リサイクルプラント（三原市沼田東町納所409）
------	--

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m2以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第8節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所 受注者が責任をもって確保すること。

第3章 工事保険等

第1節 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団，（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
耐震性貯水槽		式		1	レベル1
耐震性貯水槽土工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘		m3		92	レベル4
埋戻し		m3		34	レベル4
土砂等運搬		m3		70	レベル4
基礎工		式		1	レベル4
開削水替工		式		1	レベル3
開削水替		式		1	レベル4
耐震性貯水槽据付工		式		1	レベル2
本体据付工		式		1	レベル3
工場製作工		式		1	レベル2
耐震性貯水槽製作工		式		1	レベル3
耐震性貯水槽製作加工	耐震性貯水槽 II型 40m3 FRP塗装	式		1	レベル4
標識工		式		1	レベル2
小型標識工		式		1	レベル3
仮設工		式		1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		式		1	レベル4
＊＊直接工事費（鋼橋製作工）＊＊					
間接労務費（鋼橋製作工）					
工場管理費（鋼橋製作工）					
＊＊間接工事費（鋼橋製作工）＊＊					
＊＊工場製作原価（鋼橋製作工）＊＊					
＊＊直接工事費（工場製作を除く）＊＊					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
簡易支持力測定		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊架設工事原価＊＊					
＊＊工事原価＊＊					

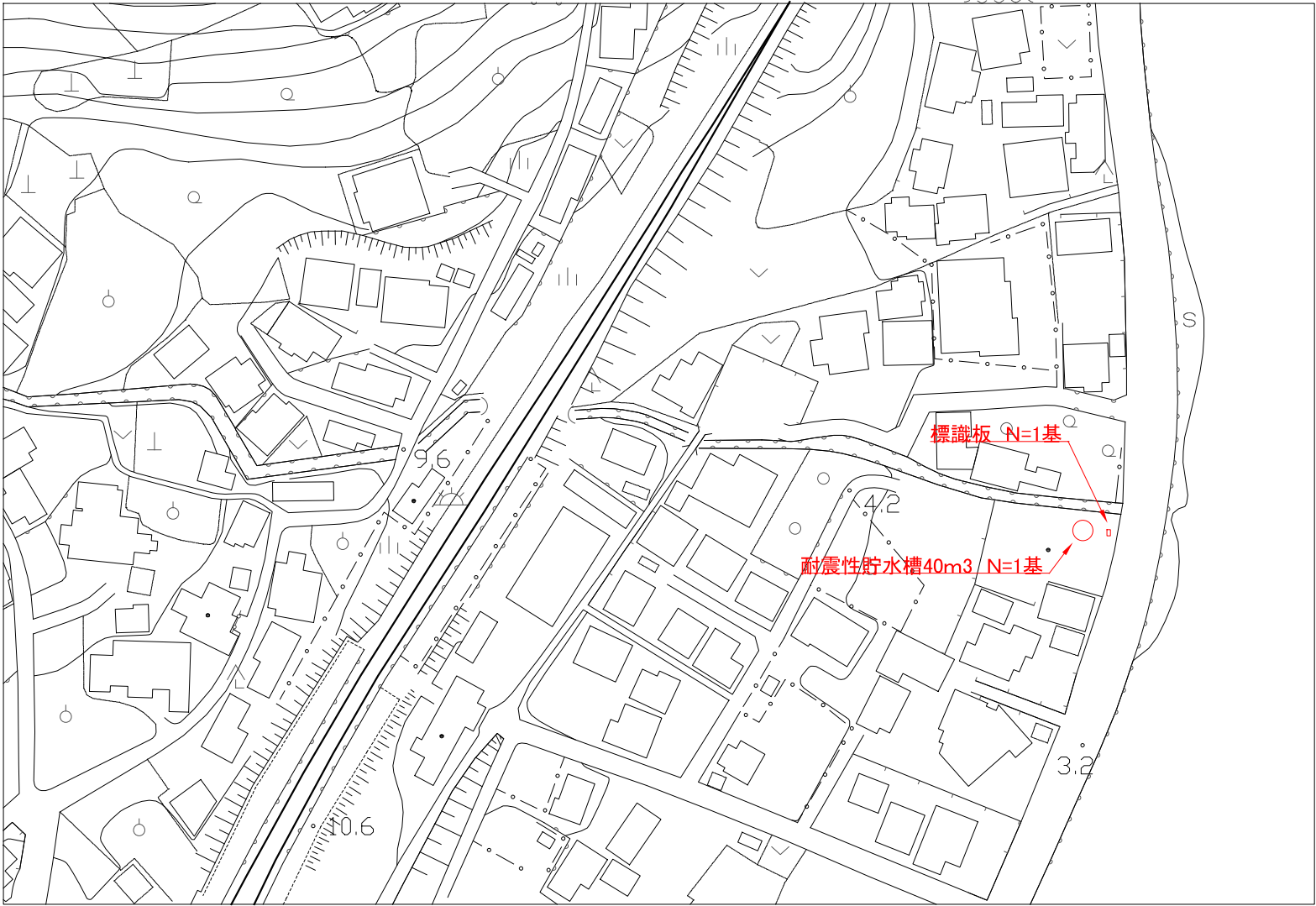
工事数量総括表

頁0 -0003

[illegible]

図面番号	1	縮 尺	
事業年度	令和 6 年度		
種 別	平 面 図		
名 称	耐震性貯水槽新設工事（須波一丁目）		
工事箇所	三原市須波一丁目		
三 原 市			

耐震性貯水槽仕様
「貯水槽形式」耐震性貯水槽40m3（一財）
日本消防設備センター認定品



参 考 資 料

—耐震性貯水槽新設工事（須波一丁目）—

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-06. 07. 01 (0)	《 凡例 》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証 (0. 04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
耐震性貯水槽					Y1E01 レベル1
	1	式			
耐震性貯水槽土工					Y1E0101 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1E010102 レベル3
	1	式			
床掘					Y1E01010201 レベル4
	92	m3			
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し					SPK23040015 00
	92	m3			単第0 -0001 表
埋戻し					Y1E01010201 レベル4
	34	m3			
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満					SPK23040020 00
	34	m3			単第0 -0002 表
土砂等運搬					Y1E01010203 レベル4
	70	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離15.5km以下(11.5km超)	70	m3			SPK23040002 00 単第0 -0003 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費	70	m3			F0001 00
基礎工	1	式			Y1E01010204レベル4
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 C-40	18.1	m2			SPK23040034 00 単第0 -0004 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	13.6	m3			SPK23040154 00 単第0 -0005 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	7.7	m2			SPK23040156 00 単第0 -0006 表
鉄筋工 SD295_D16 一般構造物 [規]10t未満	0.94	t			SS000099 00 単第0 -0007 表
鉄筋工 SD295_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.03	t			SS000099 00 単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
常温合材					W0003
	0.1	m3			
開削水替工					Y1I010109 レベル3
	1	式			
開削水替					Y1I01010901 レベル4
	1	式			
ポンプ運転工					SG1D0042001 00
	4	日			単第0 -0009 表
据付・撤去工					SG1D0042002 00
	1	現場			単第0 -0011 表
耐震性貯水槽据付工					Y1E0107 レベル2
	1	式			
本体据付工					Y1E010701 レベル3
	1	式			
躯体工					Y1E01070101 レベル4
	1	式			
本体据付工					V0001 00
	1	式			単第0 -0012 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
工場製作工	1	式			Y1E0301 レベル2
耐震性貯水槽製作工	1	式			Y1E030101 レベル3
耐震性貯水槽製作加工 耐震性貯水槽 II型 40m3 FRP塗装	1	式			Y1E03010101 レベル4
【工場製作に含まれる材料費等】					#0045
耐震性貯水槽製作費 II型 40m3	1	式			F0002 00
標識工	1	式			Y1E0109 レベル2
小型標識工	1	式			Y1E010901 レベル3
標識柱 支柱 φ 60.5×2.3×3500	1	基			Y1E01090101 レベル4
標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式] 単柱式 静電粉体塗装(白色) 柱径 φ 60.5 [規]2基以下	1	基			SS000067 00 単第0 -0013 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標識柱 φ 600	1	基			Y1E01090101 レベル4
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下	1	基			SS000223 00 単第0 -0014 表
仮設工	1	式			Y1I0205 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	5	人			R0369 00
直接工事費（鋼橋製作工） #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
間接労務費（鋼橋製作工） 計算情報…… 率……………					
工場管理費（鋼橋製作工） 計算情報…… 率……………					

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊間接工事費（鋼橋製作工）＊＊					
＊＊工場製作原価（鋼橋製作工）＊＊					
＊＊直接工事費（工場製作を除く）＊＊ #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
簡易支持力測定	1	式			YZZ05001001 レベル4
簡易支持力測定	1	式			W0001
共通仮設費率分	1	式			Z0019

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報…… 対象額……… 率………					
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊					
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
＊ ＊ 架設工事原価 ＊ ＊					
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊					
一般管理费率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率………					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

本工事費 内訳表

頁0 -0009

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

床掘り
土砂 標準
機械構成比：24.08%
SPK23040015
無し 障害無し
労務構成比：50.56%
材料構成比：25.36%
市場単価構成比：0.00%
標準単価：227.74000

単第0 -0001 表
1
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	24.08%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	50.56%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2〜4KL積載車給油	25.36%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

頁0 -0011

埋戻し

SPK23040020

単第0 -0002 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 11.71% 労務構成比: 83.03% 材料構成比: 5.26% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,861.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	9.99%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8～1.1t	1.62%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8～1.1t		KTPC00008 KTPT00008
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	0.10%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	51.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	22.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	5.12%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油	0.14%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工单価表

頁0 -0012

埋戻し

SPK23040020

单第0 -0002 表

1

m3 当り

最大埋戻幅1m以上4m未満

最大埋戻幅1m以上4m未満

材料構成比: 5.26%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,861.40000

機械構成比: 11.71%

勞務構成比：

83.03%

材料構成比：

5. 26%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価：

1,861.40000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0003 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離15.5km以下(11.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25%

労務構成比:

38.07%

材料構成比:

15.68%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,106.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=39 距離15.5km以下(11.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0014

基礎碎石

SPK23040034

単第0 -0004 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

C-40

1

当り

機械構成比: 5.53%

労務構成比: 71.60%

材料構成比: 22.87%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1,217.70000

m2

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜賃＞バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.50%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	34.31%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
クラッシュラン 40～0mm	17.73%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00005 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工单価表

頁0 -0015

基礎碎石

SPK23040034

單第0 -0004 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

C-40

機械構成比: 5.53% 勞務構成比:

71.60%

材料構成比: 22.87%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

m2 当り

1,217.70000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

コンクリート SPK23040154 単第0 -0005 表
無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設 1 m3 当り
機械構成比: 4.32% 労務構成比: 37.95% 材料構成比: 57.73% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 29,669.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1〜3, 2011, 2014	4.08%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.58%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0017

コンクリート

SPK23040154

单第0 -0005 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.32% 勞務構成比:

37.95% 材料構成比: 57.73%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価： 29,669.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

型枠
一般型枠
機械構成比：0.00%
労務構成比：100.00%
材料構成比：0.00%
市場単価構成比：0.00%

SPK23040156
鉄筋・無筋構造物

単第0 -0006 表
1
標準単価：8,890.10000
m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.99%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工单価表

頁0 -0019

鉄筋工
SD295_D16

SS000099

單第0 -0007 表

一般構造物 [規]10t未満

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

施工单価表

頁0 -0020

鉄筋工
SD295_D13

SS000099

單第0 -0008 表

一般構造物 [規]10t未満

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

ポンプ運転工

SG1D0042001

単第0 -0009 表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.11	人			
普通作業員	0.05	人			
工事用水中ポンプ損料	1	日			単第0-0010 表
発動発電機 ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	1	日			
諸雑費	18	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 作業時排水 C=1 ポンプ1台			B=2 発動発電機 D=1 普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程5m		

施工単価表

工事用水中ポンプ損料

SGAD0042001

單第0 -0010 表

頁0 -0022

1 目 当り

[illegible]

施工单価表

頁0 -0023

据付・撤去工

SG1D0042002

单第0 -0011 表

現場	当り
----	----

[illegible]

施工単価表

本体据付工

V0001

単第0 -0012 表

頁0 -0024

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
＜作＞ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 10t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1次基準値)低騒音	2	日			
土木一般世話役	9	人			
とび工	7	人			
普通作業員	9	人			
溶接工	6	人			
防水工	8	人			
塗装工	4	人			
検査工	1	式			
現場材料・消耗品費	1	式			
器具リース・工具損料	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工单価表

頁0 -0025

標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式] SS000067

單第0 -0013 表

单柱式 静电粉体涂装(白色) 柱径 $\phi 60.5$ [規]2基以下

基 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

標識板設置

SS000223

单第0 -0014 表

警戒・規制・指示・路線番号標識

[規]2基以下

基 当 り

[illegible]

数量総括表

—耐震性貯水槽新設工事（須波一丁目）—

設計数量総括内訳書							
工種 レベル2	種 別 レベル3	細 別 レベル4	積算要素	規 格	単位	数 量	摘 要
耐震性貯水槽土工							
	作業土工						
		床掘			m ³	92	
			機械掘削		m ³	92	
		埋戻し			m ³	34	
			埋戻し		m ³	34	
		残土処理工			m ³	70	
			土砂等運搬		m ³	70	
			残土受入費		m ³	70	
耐震性貯水槽据付工							
	本体据付工						
		基礎工			式	1	
			基礎碎石	RC-40	m ²	18.1	
			コンクリート	無筋構造物	m ³	13.6	
			型枠		m ²	7.7	
			鉄筋	D16	t	0.94	
			鉄筋	D13	t	0.03	
			常温合材		m ³	0.1	
耐震性貯水槽据付工							
	本体据付工						
		躯体工					
			本体据付工		式	1	
工場製作工							
	耐震性貯水槽製作工						
		耐震性貯水槽製作加工 日本消防設備安全センター認定品 容量 40m ³			式	1	
		耐震性貯水槽 40m ³ II型	鋼製縦円筒型 SUS梯子付		式	1	

[illegible]

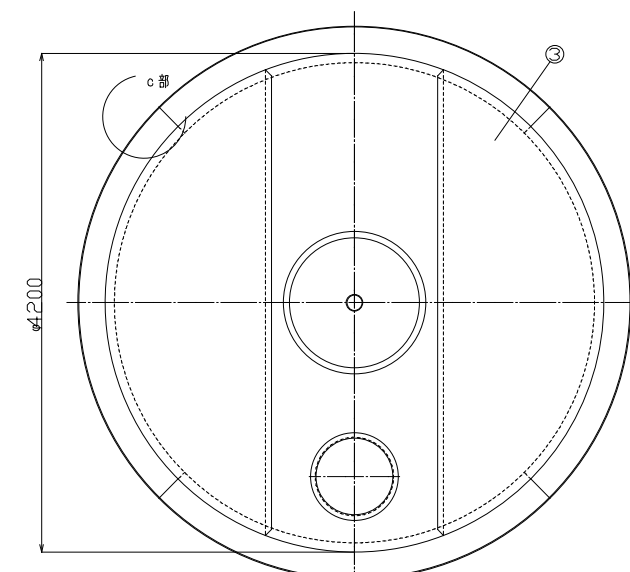
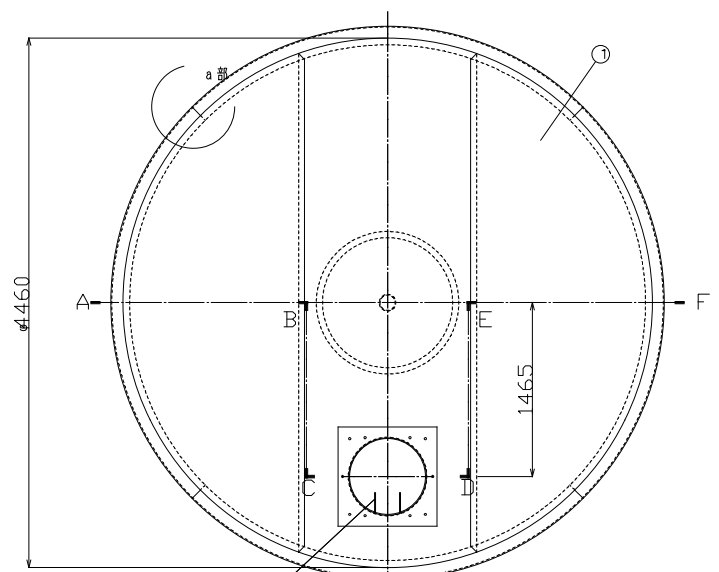
土工数量計算書

1. 床掘(予掘部) $1.5 \div 3 \times (41.85 + 26.42 + \sqrt{(41.85 \times 26.42)})$ 上面 $\phi 7.3\text{m}$ → 上面積 41.85 m² 下面 $\phi 5.8\text{m}$ → 上面積 26.42 m²	50.76 m³
2. 床掘(缶体部) 機械掘削 (缶体部根切深さ : 2.264 m) $\phi 4.818 \times$ 缶体部根切深さ $\pi (4818 \div 2)^2 \times 2.264 = 92.04$	41.28 m³ 92.04 m³
3. 埋戻し ・タンク隙間埋め戻し (タンク隙間埋め戻し深さ : 1.951m) $V1 = (\phi 4.818 - \phi 4.661) \times \text{タンク隙間埋め戻し深さ}$ $= \pi \{(4.818/2)^2 - (4.661/2)^2\} \times 1.951$ $= 2.28 \text{ m}^3$ ・埋め戻し上部 (GL面～頂版上面の範囲) 上面 $\phi 7.300 \text{ m} \rightarrow$ 上面積 41.85 m² 下面 $\phi 6.900 \text{ m} \rightarrow$ 下面積 37.39 m² $V2 = \text{投入孔部} = \pi (0.6604/2)^2 \times 0.400 \times 1 = 0.14 \text{ m}^3$ $= \text{深さ} \div 3 \times (\text{上面積} + \text{下面積} + \sqrt{(\text{上面積} \times \text{下面積})}) - \text{投入孔}$ $= 0.4/3 \times (41.85 + 37.39 + \sqrt{(41.85 \times 37.39)}) - 0.14$ $= 15.7 \text{ m}^3$ ・埋め戻し下部 (頂版上面～予掘り底面) 上面 $\phi 6.900 \text{ m} \rightarrow$ 上面積 37.39 m² 下面 $\phi 5.800 \text{ m} \rightarrow$ 下面積 26.42 m² $V3 = \text{深さ} \div 3 \times (\text{上面積} + \text{下面積} + \sqrt{(\text{上面積} \times \text{下面積})})$ $= 1.1/3 \times (37.39 + 26.42 + \sqrt{(37.39 \times 26.42)})$ $= 34.9 \text{ m}^3$ ・水槽重なり部 (埋め戻し下部に含まれるタンク体積) (頂版上面から防食コン底面までの高さA : 0.50 m) (防食コン底面から予掘り底面までの高さB : 0.60 m) $V4 = \phi 4.8 \times \text{高さA} + \phi 4.661 \times \text{高さB}$ $= \pi (4.8/2)^2 \times 0.50 + \pi (4.661/2)^2 \times 0.60$ $= 19.3 \text{ m}^3$ ・埋め戻し土量 $V5 = V1 + V2 + V3 - V4$ $= 2.28 + 15.7 + 34.92 - 19.29$ $= 33.6 \text{ m}^3$	33.61 m³
4. 残土処分 $V5 = (50.76 + 41.28 - 33.61) \times 1.2$ $= 70.12 \text{ m}^3$	70.12 m³
5. 基礎工 基礎碎石 (碎石厚さ : 0.150 m) $\phi 4.802 \times \text{碎石厚さ}$ $= \pi (4.802/2)^2 \times 0.150$ $= 18.1 \text{ m}^2$ 均しコンクリート (コンクリート厚さ : 0.050 m) $\text{ピット部} = \pi (0.6604/2)^2 \times 0.050 \times 1 = 0.02 \text{ m}^3$ $V6 = (\phi 4.802 \times \text{捨てコンクリート厚さ} - \text{ピット部}) \times 1.03$ $= (\pi (4.802/2)^2 \times 0.050 - 0.02) \times 1.03$ $= 0.91 \text{ m}^3$ 底版コンクリート(底版コンクリート厚さ : 0.400 m) (底版コンクリート 上部厚さ : 0.287 m) (底版コンクリート 下部厚さ : 0.113 m) $\text{ピット部} = \pi (0.6604/2)^2 \times 0.400 \times 1 = 0.14 \text{ m}^3$ $V7 = (\phi 4.645 \times \text{上部厚さ} + \phi 4.802 \times \text{下部厚さ} - \text{ピット部}) \times 1.03$ $= 6.97$ 頂版コンクリート(頂版コンクリート厚さ : 0.300 m) (防食コンクリート高さ : 0.200 m) $\text{投入孔部} = \pi (0.6604/2)^2 \times 0.300 \times 1 = 0.10 \text{ m}^3$ $(\phi 4.8 \times \text{頂版厚さ} + (\phi 4.8 - \phi 4.661) \times \text{防食高さ} - \text{投入孔部}) \times 1.03$ $V8 = (\pi (4.8/2)^2 \times 0.3 + \pi \{(4.8/2)^2 - (4.661/2)^2\} \times 0.2 - 0.1) \times 1.03$ $= 5.7$	18.10 m² 0.91 m³ 6.97 m³ 5.70 m³

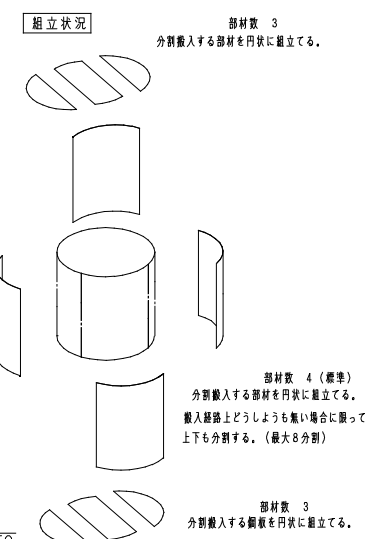
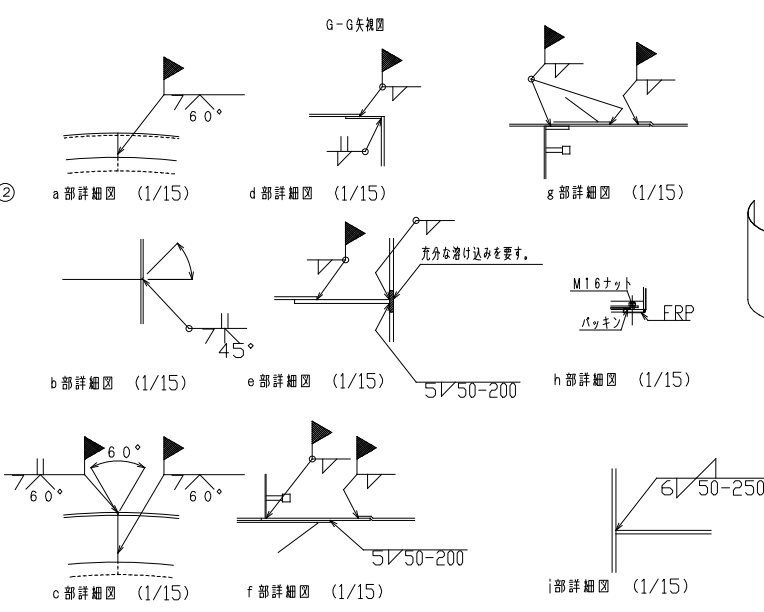
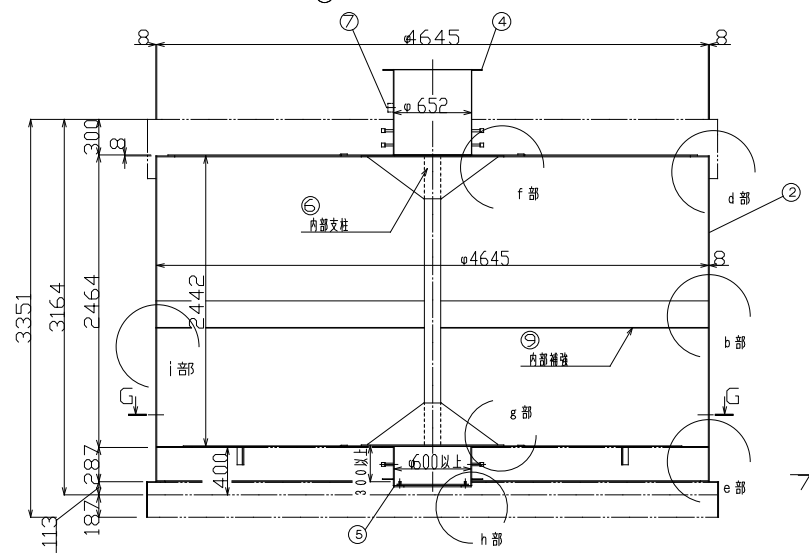
コンクリート $= V6 + V7 + V8$ $= 0.91 + 6.97 + 5.70$ $= 13.58$					13.58	m3
頂版型枠(型枠高さ : 0.51 m) $= \phi 4.8 \times \text{型枠高さ}$ $= 4.8 \pi \times 0.51$ $= 7.69$					7.69	m2
底版下常温合材敷(常温合材厚さ : 0.008 m) $\text{ピット部} = \pi (0.6604/2)^2 \times 0.008 \times 1 = 0.003 \text{ m3}$ $= \phi 4.045 \times \text{常温合材厚さ} - \text{ピット部}$ $= \pi (4.045/2)^2 \times 0.008 - 0.003$ $= 0.1$					0.10	m3
鉄筋						
		頂版	底版			
	D16	502 kg	437 kg	=	939 kg	939 kg
	D13	12 kg	15 kg	=	27 kg	27 kg

参 考 図

—耐震性貯水槽新設工事（須波一丁目）—

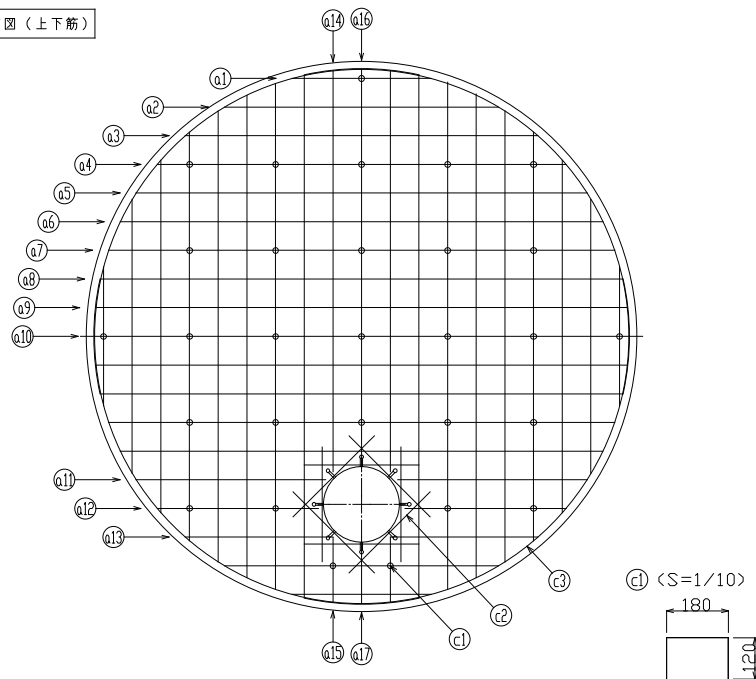


符 号	名 称	材 質	備 考 (主 材 料)
①	頂板	SS400又はSS400B	
②	側板	SS400又はSS400B	
③	底板	SS400又はSS400B	
④	噴管投入孔	SS400又はSS400B	
⑤	集水ビット	SS400又はSS400B	
⑥	内部支柱	SS400又はSS400B 配管規格部材	
⑦	給水口	(SUS304)	
⑧	梯子取付金具	(SUS304) (SS400又はSS400B)	
⑨	内部補強	SS400又はSS400B	

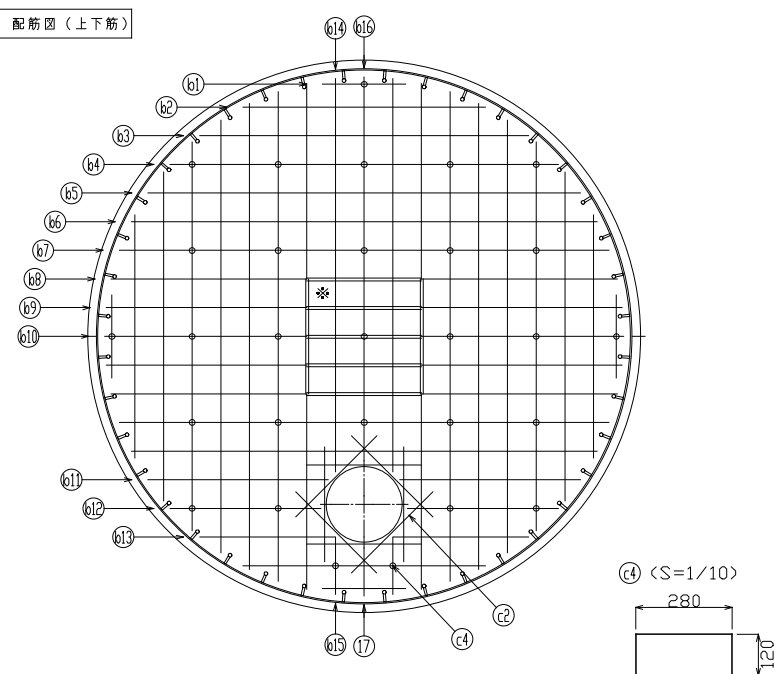


図面番号	2	縮 尺	
事業年度	令和6年度		
種 別	本 体 図		
名 称	耐震性貯水槽新設工事（須波一丁目）		
工事箇所	三原市須波一丁目		
	三 原 市		

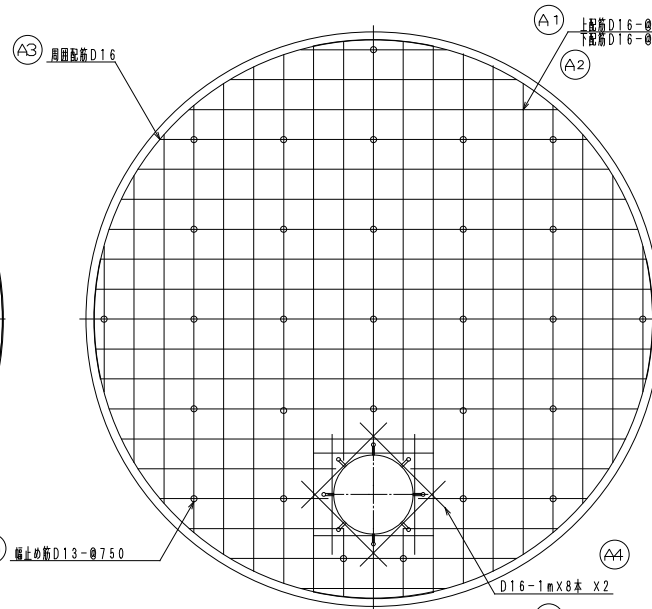
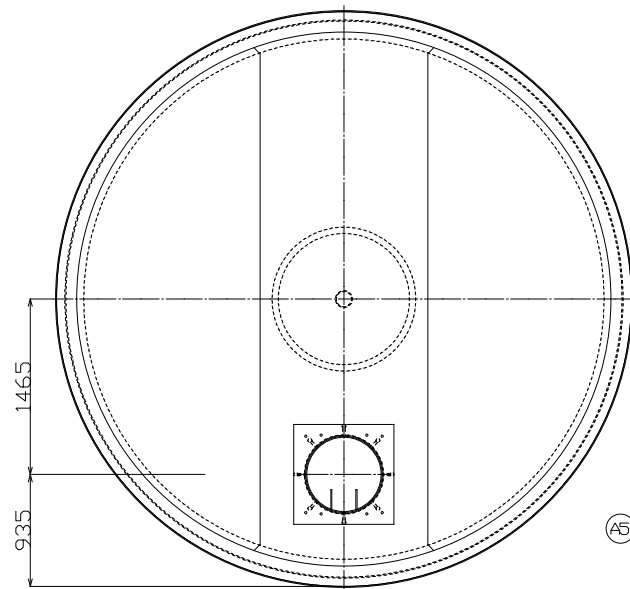
頂版 配筋図（上下筋）



底版 配筋図（上下筋）



図面番号	3	縮 尺	
事業年度	令和6年度		
種 別	配 筋 図		
名 称	耐震性貯水槽新設工事（須波一丁目）		
工事箇所	三原市須波一丁目		
三 原 市			



頂版配筋図

No.	名 称	材 質	数 量	仕 様	備 考
1	頂版コンクリート	鉄筋コンクリート	1		
2	底版コンクリート	鉄筋コンクリート	1		
3	本体	SS400φ SS400B	1		
4	マンホール	鉄筋	1	φ 600	
5	調整リング	コンクリート	—	φ 600	
6	マンホール蓋と調整リング、ナット	マンホール蓋はSS400 BφSS400B	—		
7	梯子	FRP又はアルミ	1		
8	ヒット外枠	SS400φ SS400B	1		
9	掘削用土具	SS400φ SS400B	1		

記 号	名 称	径	長 さ	本 数	一本当り重量	質 量	備 考
A1	上筋	D16	長さ 133470	44	---	209.5	---
A2	下筋	D16	長さ 133470	44	---	209.5	---
A3	周囲配筋	D16	4660	8	7.27	58	---
A4	補強筋	D16	1000	16	1.56	25	---
A5	幅止め筋	D13	420	29	0.42	12	---

合 計 D16 502 kg

合 計 D13 12 kg

総重量 514 kg

コンクリート体積 (24-15-25) 5.70 m³

※ 鉄筋はSD295以上を使用

記 号	名 称	径	長 さ	本 数	一本当り重量	質 量	備 考
B1	上筋	D16	長さ 132780	51	---	206	---
B2	下筋	D16	長さ 132780	51	---	206	---
B3	補強筋	D16	1000	16	1.56	25	---
B4	幅止め筋	D13	520	29	0.52	15	---

合 計 D16 437 kg

合 計 D13 15 kg

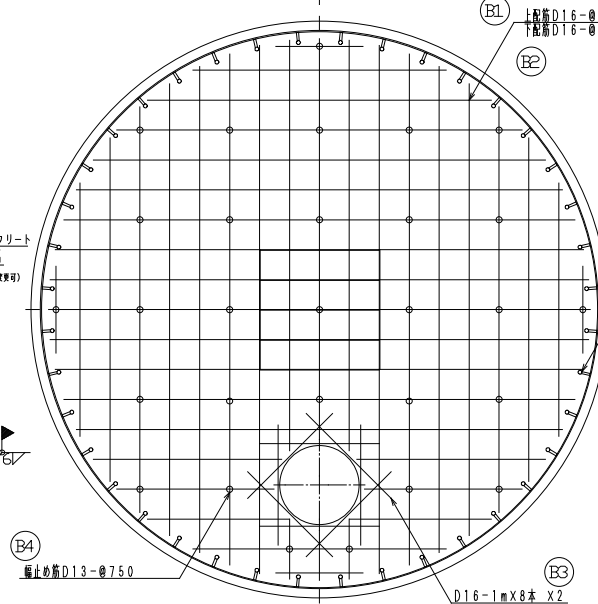
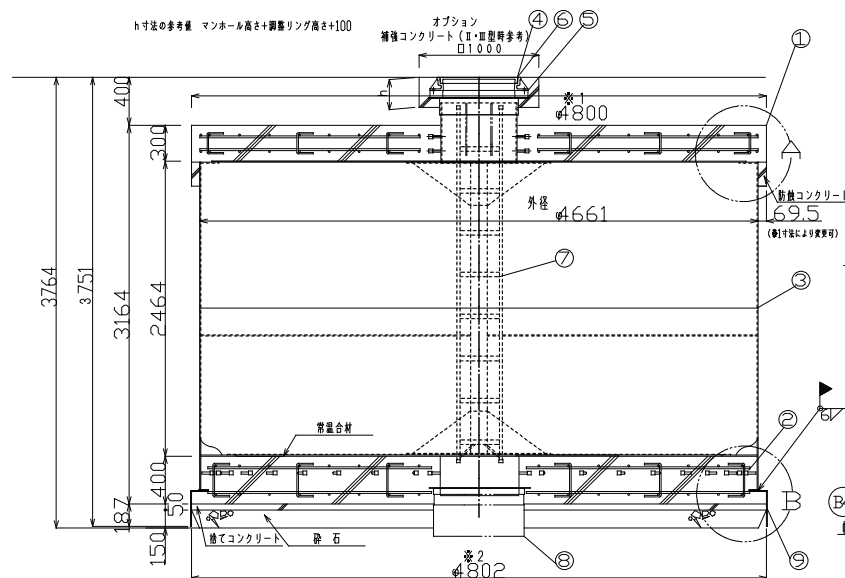
総重量 452 kg

コンクリート体積 (24-15-25) 6.97 m³

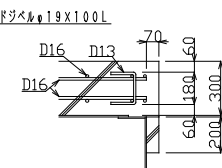
常温合材重量 180 kg

※ 鉄筋はSD295以上を使用

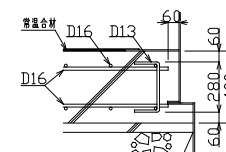
h寸法の参考値 マンホール高さ+調整リング高さ+100



底版配筋図



△部詳細図 (1/20)

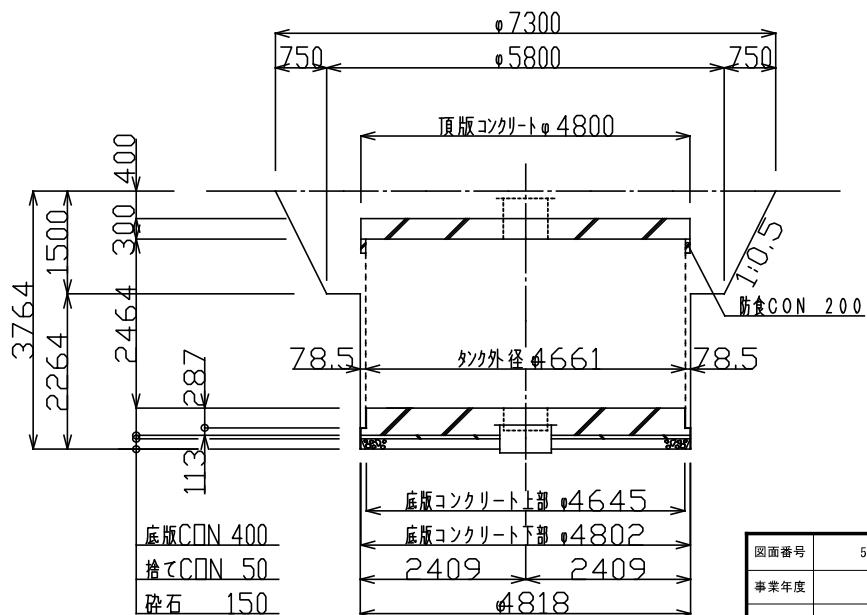
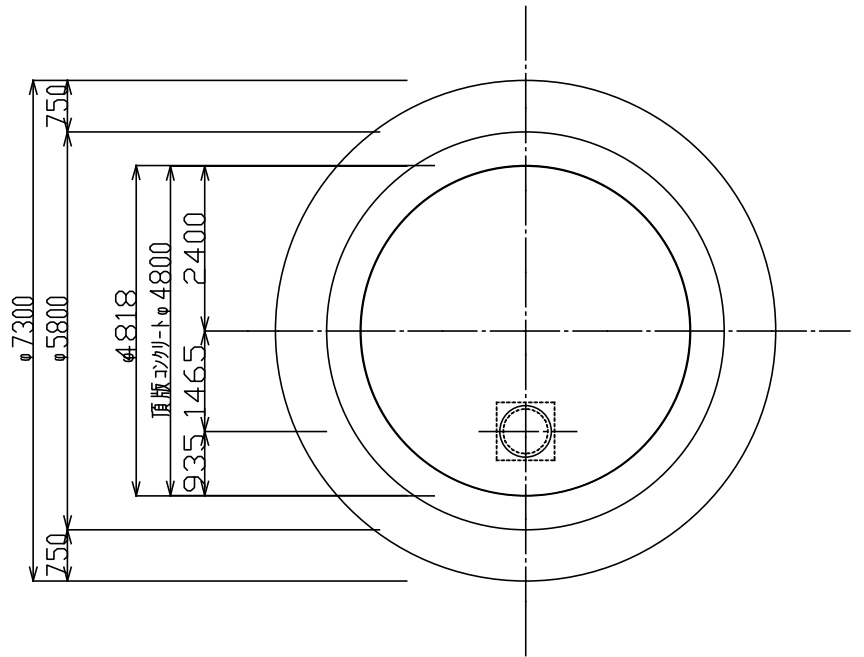


B部詳細図 (1/20)

図面番号	4	縮 尺
事業年度	令和 6 年度	
種 別	埋 設 図	
名 称	耐震性貯水槽新設工事（須波一丁目）	
工事箇所	三原市須波一丁目	
三 原 市		

S=1:100

条件 … 勾配 1 : 0.5, 土被り0.4m, 余掘り1.5m

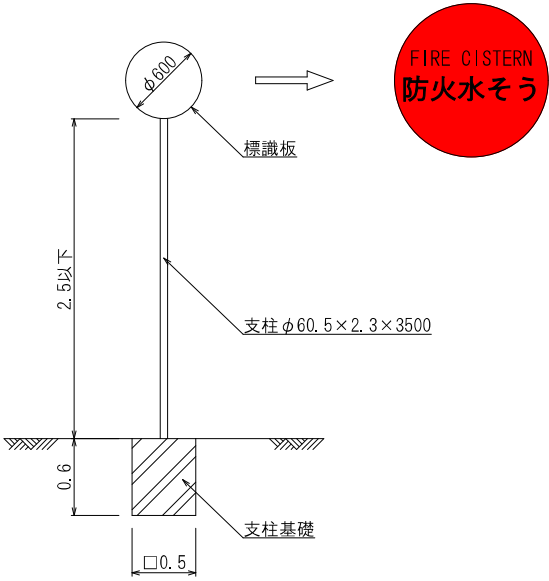


図面番号	5	縮 尺	
事業年度	令和 6 年度		
種 別	根 切 図		
名 称	耐震性貯水槽新設工事（須波一丁目）		
工事箇所	三原市須波一丁目		
三 原 市			

図面番号	6	種 別
作業年度	令和6年度	
城 別	標識板構造図	
名 称	耐震性貯水塔新設工事（須波一丁目）	
工事箇所	三原市須波一丁目	
三 原 市		

構 造 図

S=1:20



位置図

